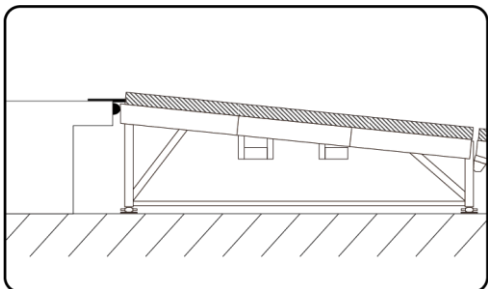


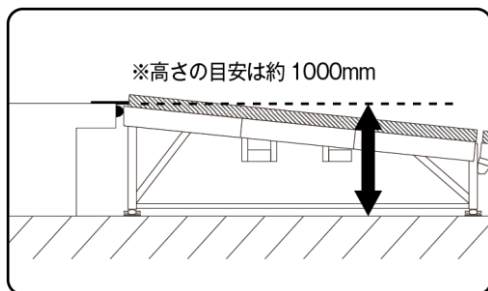
昇降用スロープの組立について

昇降用スロープの組立ては、この説明書をよくお読みの上、順序よく組み立ててください。
安全に充分ご注意の上フォークリフトを操作し、架台1から順番に、プラットフォームにセットしてください。

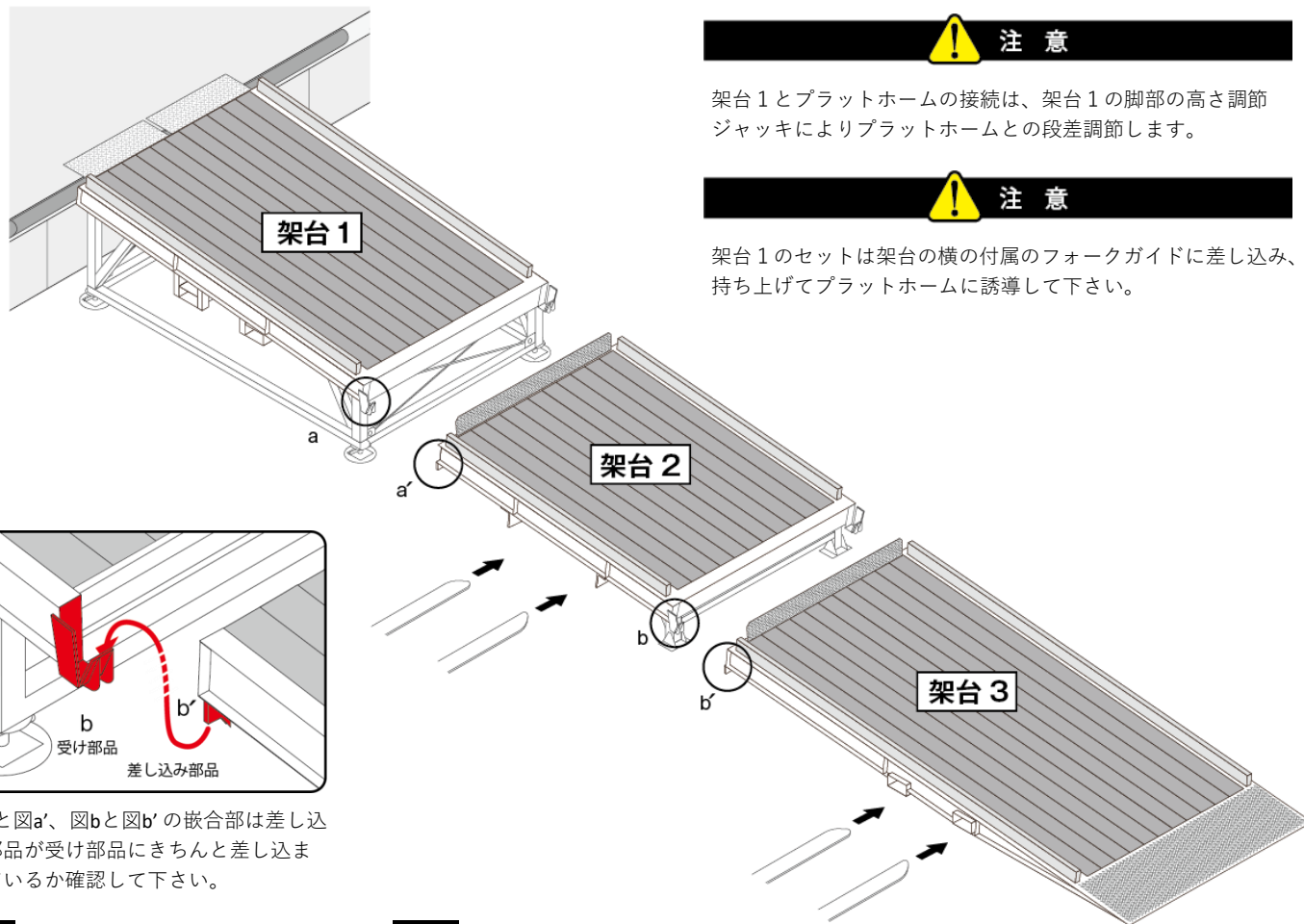
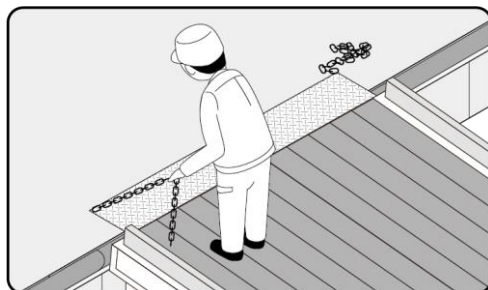
- 1** 組立て場所、プラットフォームとのセットの際は、フラットな場所を選んでください。



- 2** 荷積載時のプラットフォーム床面高さと同下ろし時の床面高さの間に架台1の高さを設定してください。



- 3** 架台1の高さ調節ジャッキで床面の高さを調節します。その後架台3まで設置後に渡板を2/3以上差し渡してください。



注意

架台1とプラットフォームの接続は、架台1の脚部の高さ調節ジャッキによりプラットフォームとの段差調節します。



注意

架台1のセットは架台の横の付属のフォークガイドに差し込み、持ち上げてプラットフォームに誘導して下さい。

図aと図a'、図bと図b'の嵌合部分は差し込み部品が受け部品にきちんと差し込まれているか確認して下さい。

4

つづいて架台1と架台2のセットは、フォークのツメを横から差し込んで移動します。図aと図a'の組立て嵌合部分のはめ込みを確認しながら、フォークリフトを調節して組み立てます。

5

架台2と架台3のセットも同様に、フォークのツメを上図のように横から差し込んで移動します。図bと図b'の組立て嵌合部分を慎重にはめ込んで、ゆっくり架台3を降ろしてください。

昇降用スロープの取り扱いについて

昇降用スロープの取扱いは、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになりました後いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

※作業荷重6500Kg以下（リフト自重2.0t以下+荷物）

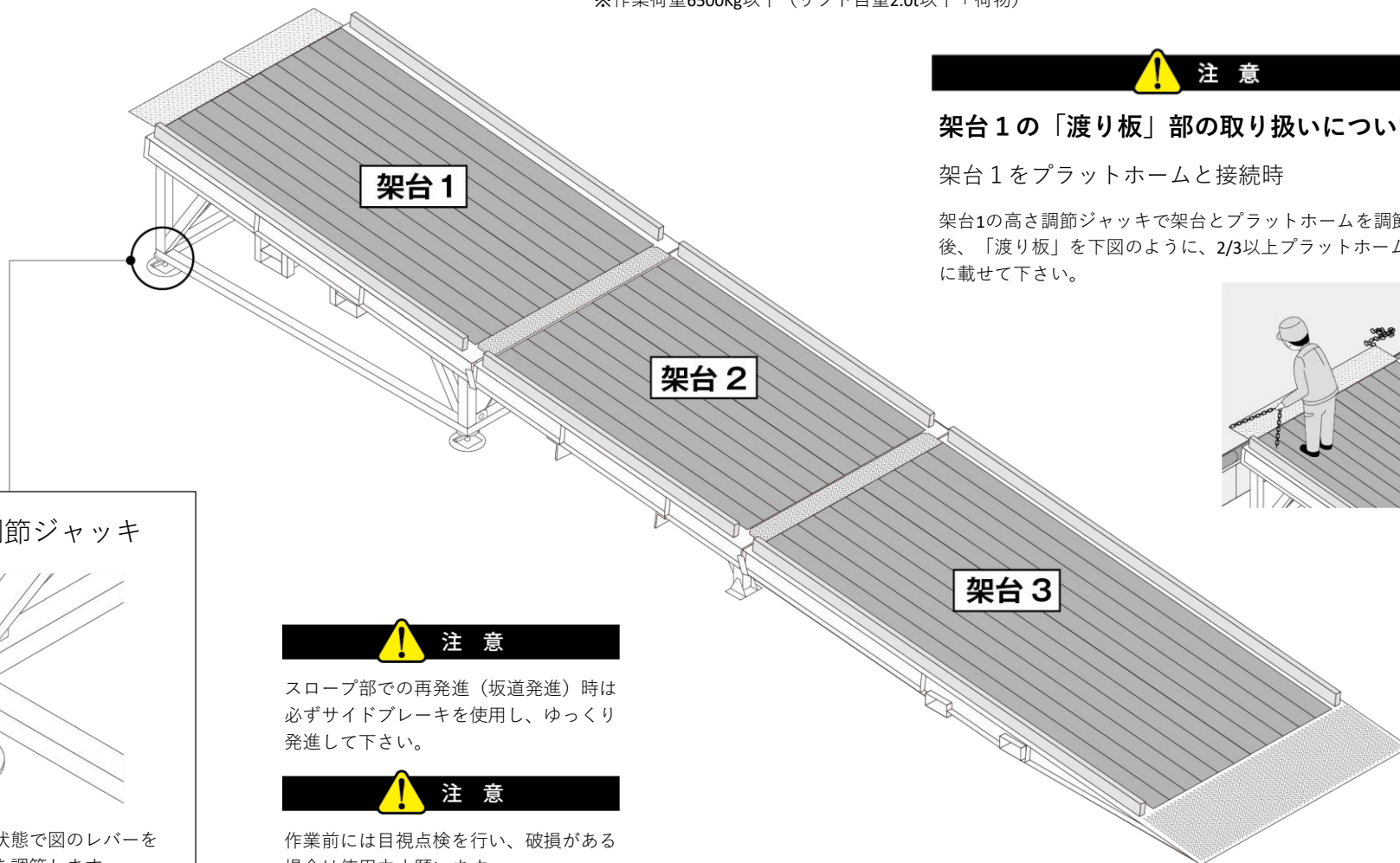
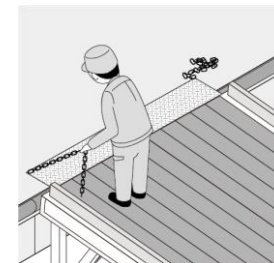


注意

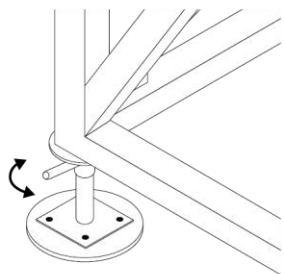
架台1の「渡り板」部の取り扱いについて

架台1をプラットホームと接続時

架台1の高さ調節ジャッキで架台とプラットホームを調節した後、「渡り板」を下図のように、2/3以上プラットホーム床上に載せて下さい。



高さの調節ジャッキ



脚が浮いている状態で図のレバーを廻して脚の高さを調節します。
その際、地面の凸凹にジャッキが確実に下がるまで固定して下さい。
※設置した状態でバーを廻すと破損する恐れがあります。



注意

スロープ部での再発進（坂道発進）時は必ずサイドブレーキを使用し、ゆっくり発進して下さい。



注意

作業前には目視点検を行い、破損がある場合は使用中止願います。



注意

雨天時のご使用は滑りやすくなりますのでご注意ください。

※フォークリフト専用となります。

※架台1、2、3をセットする場合は、荷重2000Kg以上のリフトをご用意ください。